



望遠鏡で月を観察する児童たち
(京都市下京区・七条第三小)

月面「ぼこぼこ」驚き

七条第三小 天体観察の授業

京都市下京区の七条第三小で地元の天体研究家を招いた夜の特別授業がこのほどあり、4年生児童と保護者ら計約100人が望遠鏡の観察などで月の理解を深めた。

校庭で児童らは天体研究家の牛乳販売店経営浅井啓司さん(54)

から月の満ち欠けについて説明を受けた後、大型望遠鏡や双眼鏡で月面の明暗やクレターの影を観察した。

岩崎くるみさん(9)は「月がこんなにはこぼこしていると思わなかった」と話していた。

(大西幹子)